

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動に關 する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)	旧資料No	
47	B07011933	7	年	男性	異常行動	2007/3/22 2007/3/22	朝夕	2007/3/22	12:00	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(2004/08)「入浴後、蒼白となり、数分間意識がなくなることが以前から10回くらいあった」と来院。血液検査:正常。 (2004/09) 頭部MRI: 正常、EEG: 頭頂部を中心に高振幅波、sharp & wave 散発。年齢とともに減少しており、発作回数を追うことに。その後、発作なし。 2007/3/21 インフルエンザA型と診断。 2007/3/22 (11:30)タミフル1回目服用。(12:00過ぎ)興奮、大声を出す(異常行動発現)。(19:30)タミフル2回目服用。(20:00過ぎ)興奮、大声を出す。目つきがおかしく、動き回る。2階の部屋で階段へ突っ走るのを母が抱きとめて制止。	
48	B07012130	7	年	男性	異常行動 意識消失 激越	2007/3/23 2007/3/24 2007/3/24 2007/3/25 2007/3/25 2007/3/26	夕 朝 夕 朝 夕 朝	2007/3/26	昼	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/3/26屋 外に飛び出しそうになった。異常行動を起こした。興奮状態でバタバタとした。(2時間後)2-3分間の意識消失発作。(夜)2-3分間の意識消失発作。頭痛がしてボーっとした。頭痛は続いた。興奮して眠れない状態になった。	
49	B07013248	7	年	女性	異常行動	2007/2/10	—	2007/2/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	インフルエンザに対して、本剤投与開始。服用後、数時間後に異常行動発現(非重篤)。ベランダの方へ歩き出し、親が、取り押さえ大事に至らず。左右もわからない状態で、訳のわからないことも言っていたとのこと。	
50	B07013301	7	年	男性	異常行動	2007/3/23 2007/3/23 2007/3/24 2007/3/24	朝 夕 朝 夕	2007/3/24	夜	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/3/23 A型インフルエンザに対して、本剤44mg×2回/日投与開始。発症時他覚所見:発熱39.3℃(3/23) 咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)。 2007/3/24 (夜)本剤内服。異常行動発現(非重篤)。睡眠中、ムクツと起きて2階に駆け上がった。姉につれられて泣きながら下りてきて、すぐに寝た。 本剤投与中止。 2007/3/28 インフルエンザ回復	
51	B07013303	7	年	女性	異常行動	2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	12:00 20:00 8:00 20:00 8:00 20:00	2007/2/27	10:00	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/2/24 (13:00)発熱(38.4℃)あり。熱発あったが、元気に過ごしていた。 2007/2/26 (12:00)本剤40.5mg内服。(16:00)37.6℃、いつもより落ち着きがない感じであった。(20:00)本剤40.5mg内服。 2007/2/27 (8:00)本剤40.5mg内服。(10:00)異常行動発現(非重篤)。37.2℃。布団でテレビを見ていて、すごいスピードで突然1Fと2Fを何度も昇り降りし、理解できない独り言を喋っていた。ついでには、外へ飛び出そうとして、家人が取り押さえ、事なきを得た。この時の記憶は残っていない。理解できないひと言を口走っていた。(16:00)症状回復。徐々に落ち着きを取り戻した。(20:00)前日と比べ、症状安定したため、予定通り本剤40.5mg内服。 2007/02/28 (8:00)本剤40.5mg内服。(20:00)本剤40.5mg内服。	
52	B07013309	7	年	女性	異常行動	2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21	朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/3/19	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/3/19 インフルエンザBに対して、本剤40mg×2回/日投与開始。1回目の本剤服用後1時間して意識がおかしくなりベランダへでていこうとした。鍵がかかっていて本人フーフーしてあげられなかった。同日症状回復。 2007/03/21 本剤投与終了。	
53	B07013377	7	年	女性	異常行動	2006/2/21	—	2006/2/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2006/2/21 タミフル(剤形不明)の投与を開始 2006/2/22 異常行動が発現。布団で寝ていたが、急に起き上がりベランダに置いてあったテーブルの上に乗ってへらへら笑っていたとのこと。	
54	B07013384	7	年	男性	幻聴 幻覚 譫妄	2007/3/5	19:00	2007/3/5	20:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/3/5 (18:30)当院受診し、インフルエンザAと診断。(19:00頃)本剤40mg×1日の投与開始。(20:00頃)精神症状(幻聴)、幻覚、せん妄発現(非重篤)。「こわい」「学校へ行く」等、不可解な発言と、突然立ち上がり、外へ出て行こうとする行動あり。調剤薬局へ電話が入り、監視と、症状が続くなら救急病院への受診を指示。本剤中止指示。(夜)他院受診。受診時特に問題をみとめず、解熱剤屯用の処方を受け帰宅。 2007/3/6 (12:40)当院再診。夜間も高熱持続し、少しおかしな発言はあったというが、来院時は消失していた。一方、鼻汁、喘鳴をみとめ、ホクナリンテープ1mg/日、ボラミンDS 2.3g/日分3、アスピリン散10% 0.4g/日分3を処方した。以降受診なし。回復したものと思われる。	
55	B02014446	8	年	女性	情動状態	2003/1/17 2003/1/18 2003/1/19 2003/1/20	夕 朝・夕 朝・夕 朝	2003/1/19 2003/1/20	夕 来院時	—	—	No	—	—	—	—	—	—	—	2003/1/15 発熱38.6℃。他院受診しバチン他が処方された。 2003/1/16 当院受診。高熱、頭痛、嘔吐、上肢痛、咽頭痛、咳あり。インフルABキットにてインフルエンザウイルスは検出されなかった。タミフルドライシロップ1.2g/日、ユナシン、アスピリン、ムコダインが処方された。 2003/1/17 夕よりタミフル剤服薬。 2003/1/19 夕に症状発現。異常にオチャメな感じであった。母親によると、ほろ酔い状態であるとのこと。 2003/1/20 当院来院。来院した際、診察室に入るときにカーテンにかくれパァーッと入ってくる。何を話しても笑いだす。軽口をたたく。このときの体温は36.9℃でありインフルエンザは回復していた。全身状態は良好であった。朝の服薬にて本剤を中止とした。以後も症状は継続したが、本剤中止後次第に症状は軽快していった。 2003/1/22 ユナシン、アスピリン、ムコダイン中止。 2003/1/23 夕、気分高揚状態は回復。	異-1-6
56	B05000677	8	年	男性	①意識レベルの低下 ②異常行動	2005/3/28	10:00、22:00	2005/3/28	17:00 12:00 22:00	×	No	—	—	—	—	—	—	—	—	2005/03/28 (9:00)昨日来の発熱の為、近医受診しインフルエンザA型と診断。(10:00)帰宅後、タミフル内服。(12:00)変な事を口ばる。(場にそぐわない意味不明な発言)意識障害、行動異常が発現。(17:00)上肢のピクツキと意味のない指差運動出現。(18:00)近医再診したが、神経学的異常無くそのまま無処置で帰宅。(22:00)タミフル内服。その後より急に起き上がり、歩き回り、幻覚も合併。以降、本剤の投与を中止。 2005/03/29 (1:30)当院救急外来受診。応答は可能であったが、舌なめずりや繰り返し髪を触り続ける等の異常運動認め、入院。ソリタT3とグリセオールにより、輸液開始。(8:00)異常運動消失し、神経学的にも正常所見。	異-1-24
57	B05001224	8	年	男性	幻覚 落ち着きのなさ 異常行動	2005/3/18	10:30	2005/3/18	13:30	×	Yes	—	—	—	—	—	—	—	—	2005/03/18 (午前中)受診。インフルエンザAと診断。(10:30頃)インフルエンザA治療の為、タミフル55mg×2/日投与開始。その後入眠。(13:30頃)覚醒直後から幻覚などの異常行動が出現。'怖い怖いと追いかけてくる'と言って外に出ようとする'当日中に再度受診し、生食点滴にて症状回復。	精-1-125